

平成29年度の取り組みと平成30年度の取り組み予定【環境省九州地方環境事務所】

平成29年度の取り組み	継/新	管理計画	モニ計画	平成30年度の取り組み予定	継/新
1. 科学委員会関係 (1) モニタリング ①特異な自然景観の現状・登山利用による植生等への影響把握（定点撮影） ②主要山岳部における登山者数（登山者カウンターによる利用者数計測） ③避難小屋利用状況（小屋へのノート設置） ④携帯トイレの利用状況（登山口でのアンケート調査） ⑤登山道の荒廃状況等現況調査	継 継 継 継 継	5(4)イ 5(4)イ 5(4)イ 5(4)イ 5(2)エ	ID7・24 ID19 (ID19) ID21 (ID24)	1. 科学委員会関係 (1) モニタリング ①特異な自然景観の現状・登山利用による植生等への影響把握（定点撮影） ②主要山岳部における登山者数（登山者カウンターによる利用者数計測） ③避難小屋利用状況（小屋へのノート設置） ④携帯トイレの利用状況（登山口でのアンケート調査）	継 継 継 継
(2) 山岳部における適正な利用の検討 ①「屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会」開催	継	5(2)イ		(2) 山岳部における適正な利用の検討 ①「屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会」開催	継
(3) 施設の整備・管理 ①施設の整備 ・淀川登山口休憩舎（協力金徴収棟含む）の設計 ②施設の維持管理 ・環境省直轄登山道（淀川登山口-平石岩屋） ・国立公園事業未執行登山道等の軽補修等 ・新高塚小屋TSSトイレ、携帯トイレブース	継 継 (継) 継	5(2)エ 5(2)エ 5(2)エ 5(2)エ		(3) 施設の整備・管理 ①施設の整備 ・淀川登山口休憩舎（協力金徴収棟含む）工事 ・永田歩道（焼野～鹿之沢小屋）荒廃対策工事 ・宮之浦岳縄文杉線（淀川登山口～平石岩屋）荒廃対策設計 ②施設の維持管理 ・環境省直轄登山道（淀川登山口-平石岩屋） ・国立公園事業未執行登山道等の軽補修等 ・新高塚小屋TSSトイレ、携帯トイレブース	新 新 新 継 (継) 継
(4) その他 ①外来生物対策行政連絡会議の開催（町、県、財団、管理署、保全Cと共同） ②国内希少野生動植物種の分布調査（ハヤツリンドウ、コメノエリソ）	新 継 新	5(1)エ 5(1)イ(ア) 5(1)エ		(4) その他 ①外来生物対策行政連絡会議の開催（町、県、財団、管理署、保全Cと共同） ②国内希少野生動植物種の分布調査（コメノエリソほか） ③国内希少野生動植物種等希少種既存情報による重要生育地抽出	継 継 新
2. ヤクシカワ-キンググループ関係 (1) モニタリング等 ①ヤクシカ生息状況の把握 ②ヤクシカ捕獲情報図の作成 ③希少種既知生育地での生育状況確認 ④希少種固有種モニタリングサイトの追加設置	継 継 継 継	5(4)イ (5(4)イ) 5(1)イ(ア) 5(4)イ	ID9 (ID10) ID12	2. ヤクシカワ-キンググループ関係 (1) モニタリング等 ①ヤクシカ生息状況の把握 ②ヤクシカ捕獲情報図の作成 ③ヤクシカによる植生被害及び回復状況（ID11）	継 継 新
(2) 個体群管理の取り組み ①シャープシューティング（SS）の体制による試験捕獲と導入評価 ②西部地域での密度操作実験に向けた意見交換会開催と計画案の作成	継 継	5(1)イ(イ) 5(1)イ(イ)		(2) 個体群管理の取り組み ①シャープシューティングの体制による試験捕獲と評価 ②保護地域内での計画捕獲実施計画案の作成	継 新
(3) 被害防除の取り組み ①既存植生保護柵の維持管理（21箇所） ②植生保護柵の新設（永田地区照葉樹林内、淀川地区針広混交林内） ③ヤクシマウスユキソウ保護籠の設置 ④フササジラン等ヤクシカ影響が懸念された希少種の保護対策検討	継 新 新 新	5(1)イ(ア) 5(1)イ(ア) 5(1)イ(ア) 5(1)イ(ア)		(3) 被害防除の取り組み ①既存植生保護柵の維持管理（23箇所） ②フササジラン等ヤクシカ影響が懸念された希少種の保護対策 ③国内希少野生動植物種等希少種既存情報による重要生育地抽出（再掲）	継 新 新